



左官屋さん体験 土壁を塗ってみよう！

瀬田四丁目広場の緑地の南側にある「裏門」は、一文字棧瓦葺き切妻屋根をもつ四脚門形式と言われる門です。造られたのは、昭和 13 年頃。今年度、世田谷区ではもっと多くの方に瀬田四丁目広場を利用していただくために、広場の緑地を整備し、この「裏門」の修復工事を行っています。そこでこの機会に、プロの左官職人さんに土壁の塗り方を教えてもらう、体験イベントを開催します。土壁の材料や構造、塗り方などについて教えていただき、参加者のみなさんも実際にコテを使って土壁塗りに挑戦してみましよう！

開催日：12月13日(土) 10:00~12:00(荒天中止)

場所：瀬田四丁目広場「裏門」

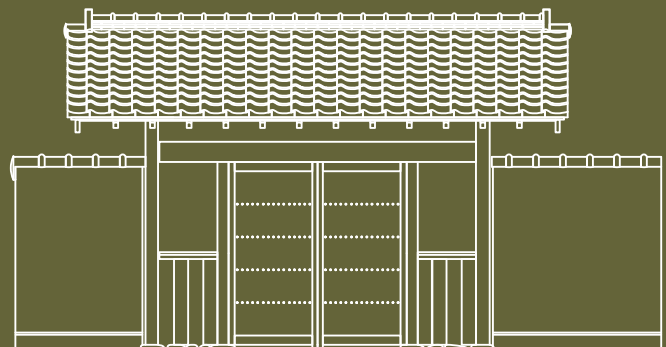
参加費用：無料

※お申し込みは必要ありません。当日 10:00 までに直接会場にお越しください。



「裏門」修復工事の概要

裏門の修復工事は、土壁を直す「左官工事」以外にも様々な工事が行われます。門が建造されてすでに 75 年以上。柱や瓦屋根の傷んでいる部分はすべて修復を行います。また腐食防止などの処理や門の佇まいを損なわないような塗装も必要です。



木工事

腐朽・欠損部分の修復。柱の根継ぎ、腰壁の部分張り替え等を行います。

屋根工事

瓦の部分葺き替え。瓦は全て降ろし、屋根下地を部分修復してから葺き替えます

左官工事

土壁の塗り替え。既存の土壁を全て撤去してから塗り替えます。

塗装工事

修復した木部の古色塗り。塗料には柿渋を使用しますが、色調整に弁柄・松煙・胡粉を混ぜます。

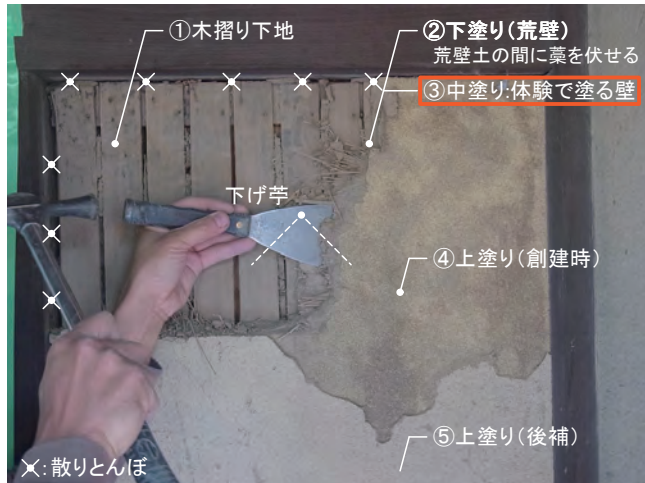
雑工事

木部の防腐・防蟻処理。外部に面する木部に塗布型吸水防止剤(撥水剤)を塗布します。

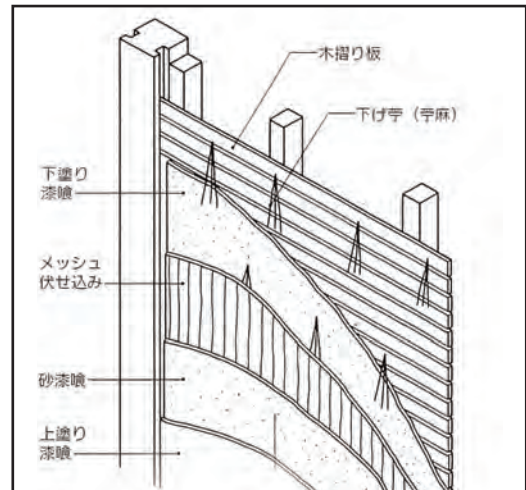
左官 工事

裏門の土壁が剥がれて落ちたため、既存の土壁を全て剥がしてから修復しています。壁下地(縦木摺り下地)は、状態がよかったのでそのまま使用しています。剥がした土は細かく砕き、新しい土と混ぜて中塗り土として再利用しています。

土壁にもさまざまな工法がありますが、裏門でみられた土壁の工法を一部紹介します。土壁とは左下の写真のように、下地の上に下塗り(荒壁)、中塗り、上塗りを塗り重ねた壁です。裏門の下地は縦木摺りでつくられていました。また、荒壁土の中に藁を伏せてありました。今回の工事でもその工法にならって修復しています。



既存の土壁を剥がしている様子(番号は土壁を塗った順序)



[参考] 一般的な木摺り下地の漆喰壁
出典:「設計の基本と納まり和風デザイン意匠・しつらい造作」より抜粋



下げ葎 木摺り下地に取り付く様子



散りとんぼ 柱に取り付く様子



荒壁土の中に藁を伏せている様子

下げ葎:土壁や漆喰の剥落(剥がれて落ちること)を防ぐために、壁や天井の木摺り下地に打ち付ける麻などの繊維の束。短いものを「ひげこ」ともいい、「うえそ」、「うえお」、「下げそ」ともいいます。

散りとんぼ:収縮硬化する特性のある土壁や漆喰壁仕上げで、散り隙を防止する目的のために施される補強のひとつです。

【開催場所】

世田谷区立瀬田四丁目広場 (旧小坂家住宅)
東京都世田谷区瀬田4-41-21

- 東急田園都市線「二子玉川駅」よりバスをご利用の場合
成育医療センター行き「玉31」または美術館行き「玉32」
「日産玉川病院」下車、徒歩2分
- 小田急線「成城学園前駅」よりバスをご利用の場合
二子玉川駅行き「玉07」
「吉沢」下車、徒歩7~8分

※駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。



【お問い合わせ】

瀬田四丁目広場活用検討ワークショップ事務局 (せたがや水辺デザインネットワーク内)

電話: 03-6447-9931 E-mail: info@setagaya-mizubedesign.org 担当: 村上・中西